

## 大学院博士前期課程授業科目の先行履修について

1. 先行履修生とは、東京都市大学大学院学則(第49条の3)に定められている「大学院博士前期課程の授業科目を先行履修することができる者」を指します。
2. 先行履修生として大学院博士前期課程の授業科目を履修することができる者は、本学大学院博士前期課程への進学を希望する本学学部4年次生であり、所属する研究室の指導教員及び講義担当者が履修を認めた者であるとともに、次の各号のいずれかに該当する者としてします。
  - (1) 本学大学院への推薦資格を有する者
  - (2) 本学大学院の入学試験に合格した者
  - (3) 別に定める成績基準 (f-GPA) 以上の者

(成績基準 (f-GPA) の値は2019年度以前の入学生は2.2、2020年度入学生は3.0、2021年度以降の入学生は2.7とする)

なお、上記に関わらず、学部・大学院一貫教育プログラム(以下、「プログラム」という。)を設置している学部においてプログラムへの参加を認められた者は、3年次後学期から先行履修生として大学院博士前期課程の授業科目を履修することができます。
3. 手続 必ず指導教員と相談し、ウェブクラスから申請してください。
4. 出願期間 大学院総合理工学研究科の履修登録期間と同じ期間(期日厳守)ですが、前期後期ともに1回のみとなります。
5. 注意事項
  - ① 先行履修を申請した科目を削除することはできません。
  - ② 先行履修の登録上限は、15単位を超えることができません。
  - ③ 先行履修科目一覧に記載されている科目のみ申請することができます。

### 6. 先行履修科目一覧

授業科目区分	授業科目名
総合教養科目	技術英語演習Ⅰ 技術英語演習Ⅱ 英語プレゼンテーション技法 エネルギー環境工学特論 研究の作法
総合基礎科目	偏微分方程式論 離散数学特論 解析幾何学特論 応用数値解析特論 量子力学特論Ⅰ 量子力学特論Ⅱ 分析化学特論 化学反応特論 統計力学特論
専門基礎科目	機械工学基礎特論 電子計測工学特論 電気回路特論 電気磁気学特論 先端デバイス特論 電気機器特論 電力エネルギー特論 臨床器械工学特論 生体計測工学特論 医用電子工学特論 応用電気化学特論 有機材料化学特論 先端X線分析特論 無機材料プロセス学特論 計算科学特論 溶液科学特論 高分子科学特論 建築計画特論 建築生産特論 地盤動力学特論 地盤工学特論 構造力学特論 水理学特論 コンピュータソフトウェア特論 集積回路特論 情報理論特論 計算数理科学特論 無線通信特論 統計工学特論 マルチメディア情報処理特論 サプライチェーンネットワーク特論 機械学習特論
専門科目※	表面処理特論 切削加工学特論 デジタル制御特論 ロボティクス特論 メカトロニクス特論 建築振動工学特論 近現代建築史特論 グローバルイノベーション特論 視覚情報工学特論

※共同原子力専攻の学生に限り、東京都市大学開講授業科目は履修できるものとし、実験実習科目及び早稲田大学開講授業科目は履修できないものとします。

7. 大学院の授業時間表および休講補講情報は、教学課のホームページで確認してください。 <https://www.asc.tcu.ac.jp/>